

**情報通信審議会 情報通信技術分科会**  
**電波利用環境委員会 CISPR A 作業班(第 17 回)**

**議事要旨**

- 1 日時：令和 4 年 9 月 12 日（月）15:00～16:20
- 2 場所：Web 会議開催(Cisco Webex)
- 3 出席者（敬称略）

【構成員】石上主任(東北学院大学)、田島主任代理(NTT-AT)、雨宮構成員(VCCI)、安藤構成員(JEMA)、伊藤構成員(NHK)、篠塚構成員(NICT)、曾根構成員(東北大学)、チャカロタイ構成員(NICT)、永野構成員(EMCC)、中村構成員(JBMIA)、原田構成員(VCCI)、針谷構成員(KEC)、平田構成員(富士フイルム)、藤井構成員(NICT)、三塚構成員(TELEC)

【関係者】長部関係者(VCCI)、島先関係者(VCCI)

【事務局】総務省：島田電波利用環境専門官、伊藤電波監視官、下谷電磁障害係長、木村官

#### 4 議事概要

##### (1) CISPR サンフランシスコ会議 対処方針(案)について

石上主任より資料 17-1-1 に基づき説明が行われ、以下の質疑応答があった。

- 藤井構成員：11.6.2 に関連して、周波数の上限を 40GHz から 43.5GHz に修正するという話をしたのだが、どのように進めれば良いか。
- 石上主任：AHG の中で決めることではないから、WG に提案する必要がある。そのうえで、必要ならプレナリーで議論する。
- 雨宮構成員：11.5.2 に関して、JTF A/I では通信ポートの許容値を測るための AAN(不平衡擬似回路網)の改良版を CISPR 16 に入れようと活動しているが、なかなか活動が進んでおらず、進むよう後押ししてほしい。
- 田島主任代理：この 11.5.2 の議題については毎年報告されているが、個別に提案した方が良いのか。
- 雨宮構成員：元々、A 小委員会の関係者に通信ポートのことが分かる人がおらず、当時 G 小委員会でやったものを標準化してほしいということで、CDV が通ったら順次 CISPR 16 に入れるということになっていたが、JTF A/I は全体的に活動が滞っており、このような状態になっている。
- 田島主任代理：基本的な取り組みだが、移す元のプロダクトスタンダードのエキスパートが入り込む形なのか。

雨宮構成員 : 昔 I 小委員会が出来た当時、JQA の羽田氏と私がこの JAHG に加わり、規格に入れていったという経緯がある。

田島主任代理 : JAHG のトップのマネジメントが出来てないので、割り振って計画を立てるよう提案したいと思う。

雨宮構成員 : 了解した。

次に、WG1 の対処方針について、石上主任より資料 17-1-2 に基づき説明が行われ、以下の質疑応答があった。

藤井構成員 : 7.1 の補足になるが、RRT(ラウンドロビンテスト)に用いられているプローブは弊機構のものである。現在、ドイツ-イギリス間の輸出入の関係で時間がかかっており、最終的なとりまとめが完了していない状態にある。総会に間に合わない可能性もある。また、その他の 2 アンテナ法やループアンテナ等については、資料が整い次第、石上主任に説明をお願いすることになると思う。

石上主任 : 承知した。

また、事務局からエディトリアルな修正が行われた。

次に、WG2 の対処方針について、田島主任代理より資料 17-1-3 に基づき説明が行われた。

また、AHG6 の対処方針について、田島主任代理より資料 17-1-4 に基づき説明が行われ、I 小委員会構成員の長部関係者、島先関係者より補足と質疑応答があった。

長部関係者 : 3<sup>rd</sup> CD の審議については、明日から審議が開始される。エディトリアルなコメントが多いので、CDV に進む方向性にしたいと思っている。サンフランシスコでは 16-2-3 の審議を中心に行われると思われる。

田島主任代理 : 以前 16-1-4 と 16-2-3 の改訂を議論した際、30MHz 以下の改訂があるのでそのスパンが議論になったことがあったかと思う。16-2-3 の FDIS は 30MHz 以下のものは出ておらず、これから CD 案が出るということで、期間的に問題ないのか。

島先関係者 : 16-2-3 に関しては、30MHz 以下の測定法の CDV が可決されている。4 カ国が反対しているが、サンフランシスコ会議で修正されれば FDIS になるのではないかと思う。

田島主任代理 : 改訂までの期間は考慮されているのか。

島先関係者 : 改訂期限までのスケジュールが迫っては来ているが、考慮している。

## (2) 電波利用環境委員会 報告書(案)について

石上主任より資料 17-2-1 及び 17-2-2 に基づき説明が行われた。

**(3) CISPR 会議 出席者(案)について**

石上主任より資料 17-3 に基づき説明が行われた。

**(4) その他**

以下の質疑応答があった。

中村構成員：16-1-1 のレシーバーの校正に関して、パルス応答特性のシートの提出を日本から提案していたと思うが、審議されるのか。

石上主任：審議する予定。資料 17-1-2 の 10.7 に追記する。

以上